

安心と希望の医療確保ビジョン(平成20年6月とりまとめ)

I. はじめに

- 現場地域のイニシアチブを第一とする
- 改革努力を怠らない
- 医療従事者のみならず、患者・家族等国民がみんなで医療を支えることが必要

II. 具体的な政策

①医療従事者の数と役割

- 医師数の増加(H9年閣議決定の見直し)
- 医師の勤務環境の改善(女性医師の離職防止・復職支援)
- 診療科のバランスの改善等(産科・小児科等の増員方策の検討)
- 職種間の協働・チーム医療の充実 等

②地域で支える医療の推進

- 救急医療の改善策の推進(量的・質的な充実、地域全体でのトリアージ、夜間・救急利用の適正化)
- 「地域完結型医療」の推進(医療計画に基づく医療連携体制の推進、診療所機能の強化)、
- 在宅医療の推進
- 地域医療の充実・遠隔医療の推進 等

③医療従事者と患者・家族の協働の推進

- 相互理解の必要性
- 医療の公共性に関する認識、患者や家族の医療に関する理解の支援 等

III. 医療のこれからの方向性

- 「治す医療」から「治し支える医療」へ